

令和3年度 経営計画書 健康福祉部 部長 世登 英明

| | |
|--------------------------------|--|
| 1 部の 使命 | <p>赤ちゃんからお年寄りまで一人ひとりの QOYL (クオリティー・オブ・やぶ・ライフ) が向上し 健やかで幸せに暮らせるまちを常に追求しながら 部内の好連携により これを実現します</p> <p>【評価】 【原因】 【方向】</p> |
| 2 それ まで の経 営評 価 | <p>【評価】 【原因】 【対応】</p> |
| 3 外部 環境 | <p>◎機会 【政治】 国における福祉・介護・健康・医療における制度改正 【経済】 所管分野の官民協働 【社会】 2025年問題（現役高齢者の労働力） 【市民】 共助の意識の高まり</p> <p>▼脅威 【地域】 高齢化による医療費、介護保険給付費の高騰 【市民】 高血圧、認知症疾患の増 【競争】 他自治体（機関）の医療と介護分野の連携</p> |
| 4 内部 環境 | <p>○強み 【使命】 部内各課間の連携を強調 【政策】 部内連携意識の向上 【協働】 関係機関との連携強化</p> <p>▽弱み 【市民】 発展的思考力の不足 【計画】 事業根拠意識の不足 【人材】 経験年数が浅く、事務系職員が少ない。 【情報】 発信力不足 【経費】 ルーティンワークが多く扶助費が多い。独自政策展開の意識が希薄</p> |
| 5 重要 経営 課題 | <p>【子育】 出生数の増 【健康】 国保医療費、介護給付費の減少 【生活】 生活困窮者の就労支援、障がい者自立支援 【人材】 福祉・介護・医療・看護等の地域人材の確保</p> |

| | |
|--|--|
| <p>10 経営 の仕 組み に関 する 取組 内容</p> | <p>【政策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆政策形成過程（立案・実施・評価）の見直し／これにより市民満足の向上に結びつく政策形成過程を本年度に確立する。 ◆各課所管の計画に基づく事業展開／事業・業務エビデンスの徹底（法令等） <p>【組織・業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆関係機関との協働／関係機関との連携し、円滑に事業遂行する。 ◆課長会議の開催／課長会議を原則週単位で開催し、ニーズ把握、情報共有、政策の進展に応じた迅速な対応体制を確立する。 <p>【能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆人材育成の強化／部内職員を総動員し、公務員として、職員として、部職員として必要な知識・意識・能力の向上を行う。 <p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆情報提供ツールの拡充／広報紙やCATV、アプリを通じて、タイムリーな情報提供を行う。可能な限り、手話通訳も導入。 ◆情報共有の推進／朝礼、定期的な課内会議等で役職に関係なく、全職員間の情報共有を進める。 |
|--|--|